

■ 摂津市の地震時に対応した避難について

◆ 地震発災時の市民の動き

・ 地域での助け合いが重要

地震発生

自身と家族の安全確保

地域内の安全の確保

- <地域の集合場所>
- ✓ 隣近所の安否確認
- ✓ 救助活動の支援
- ✓ 初期消火活動

生活の拠点の確保

- <自宅に帰宅できない場合>
- ✓ 小学校等の避難所へ移動
- ✓ 避難所運営の協力

◆ 人口データ

人口 (R3.4)	86,816 人
うち災害時要援護者登録者	3,382 人
(身障者等)	1,818 人
(独居)	1,265 人
(その他)	299 人

◆ 収容者数と避難者数

○ 罹災者数と避難所生活者数の推計

- ・ 摂津市内 罹災者数 39,059 人
- ・ 避難所生活者 11,328 人
- ・ 建物被害状況 (全壊・半壊) 11,173 棟
- (全壊 5,958 棟、半壊 5,215 棟)
- (H19 年大阪府推計 (上町断層帯地震 A))

○ 避難所収容者数 1人=5.3㎡

- ・ 摂津市内 29 箇所 11,382 人
- (小・中学校 15 箇所 9,269 人)
- (その他 14 箇所 2,113 人)

◆ 課題

- ・ 避難行動について、まずはグラウンドや公園まで一時集合場所へ避難。
 - ➡ HP 等で周知
- ・ 避難スペースについては、全市的には充足しているが、不足する地域への対応
 - ➡ 自治会ごとの避難先明示を検討中
- ・ 健常者と要支援者が同時に避難行動をとるため、要支援者を優先的に収容することが困難
 - ➡ 検討中

